

## TPP 交渉に係る緊急声明

根室生産農業協同組合連合会  
代表理事会長 高橋勝義

### TPP 交渉参加表明に抗議し交渉脱退を強く求める。

安部首相が3月15日に環太平洋連携協定（TPP）への交渉参加を決めたことについて、その具体的影響を開示しないまま拙速に決定した暴挙に強く抗議するとともに、本会は政府に対し参加交渉から脱退することを強く求めます。

根室農業は、厳しい自然条件のもとで十一万ヘクタールに及ぶ広大な農地を切り開き、約二十万頭の乳牛を増殖し、我が国有数の酪農主産地としての地位を築き上げてきました。

幾多の障害を乗り越えて発展してきた根室農業も、近年の景気低迷を背景とした畜産物の需要や価格が低迷していること、穀物需給の逼迫による飼料価格の高騰が懸念されること等の外部環境の厳しさが増しており、本会も農業経営の安定と強化を図るために管内の各農業協同組合・系統各連合会とともに全力で取り組んできた経過にあります。

今回の TPP 交渉参加は、食料供給の一翼を担う当地域はもとより全国民にとって、関税の撤廃や食品の安全基準の見直しを強く求められ、農業に壊滅的な打撃を与えるだけでなく、雇用・保険・医療・食の安全など私たちの生活全般にその影響が及ぶ極めて危険な交渉を強いられます。

すでに、政府は TPP に参加した場合、関税撤廃によって農林水産物生産額は3兆円減少するとの試算が公表されており、北海道においても約五千億円の生産減少が予測されています。

TPP は、農業産出額だけでなく、関連産業、雇用、地域経済への影響を受けて農家戸数も約70%が離脱を強いられることになり、農業を産業基盤とする当地域にとって地域社会崩壊の危機を招くものであります。

本会は、これまで TPP 参加阻止反対運動を展開してきた各団体との連携を強め、当地域の豊かな自然と農業、暮らしと経済を守るため、政府に対し交渉参加撤回を強く求めるものであります。

平成 25 年 3 月 28 日